

植栽年間管理表 (例)



種 別	回数/年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備 考
常緑樹剪定	1~2回						■				■			樹木の生長が早いものは、年2回の作業が望ましい。
落葉樹剪定	1回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	冬の落葉期(休眠期)に強めの剪定を行う。
マツ手入れ	2回					■						■		春に新芽の摘み取り(みどり摘み)を行い、樹勢の格差を平均化する。 秋にもみ上げを行うことで、古くなった葉をしごきとり日あたりを良くし、剪定を行うことで風通りを良くする。
中低木刈込	1~2回					■	■	■	■	■	■			5. 6月に強めの刈込を行い(骨格造り)、 9. 10月に徒長した枝の刈込を行う。 (花芽の保護)
生垣刈込	1~2回					■	■	■	■	■	■			5. 6月に強めの刈込を行い(骨格造り)、 9. 10月に徒長した枝の刈込を行う。 (花芽の保護)
芝生管理	3~4回				■		■	■		■				4月=目土を施し芝生の保護・新芽の活性化を図る。 6月=施肥を施し芝生の成長を促進する。 7月=芝刈を行い芝生を整える。 9月=エアレーションを行い土壤に空気を送り、土壤中の空気を良好にする。
花植(植替)	4回			■			■			■			■	春=パンジー・金魚草など 夏=サルビア・ニチニチソウなど 秋=マリーゴールド・ペチュニアなど 冬=ハボタン・デージーなど
除草・清掃	(4回)				■		■		■		■			状況により回数に変動あり
病虫害防除	適宜				■	■	■	■	■	■	■	■	■	発生時適宜行う (薬剤散布)
施肥	3回			■			■						■	芽出し肥(春肥)=萌芽や枝の伸長を助けるために与えます。 追肥・お礼肥=花の終わった後に樹勢を回復させる為に与える肥料です。(速効性肥料) 寒肥=春、庭木の生育が旺盛な時期に効き目が現れる様に冬の間に与える肥料です。(緩効性肥料)
植樹工事 伐採工事	-	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	1~2月 落葉樹 3月 常緑樹 4月 伐採など